

平成 3 0 年

全 員 協 議 会 記 録

平成 3 0 年 6 月 1 4 日

和 光 市 議 会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 平成30年6月14日（木曜日）
午後 1時50分 開会 午後 2時02分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 17名

議 長	齊 藤 秀 雄 議員	副議長	村 田 富士子 議員
1 番	菅 原 満 議員	2 番	西 川 政 晴 議員
3 番	熊 谷 二 郎 議員	4 番	鳥 飼 雅 司 議員
5 番	内 山 恵 子 議員	6 番	吉 田 武 司 議員
8 番	富 澤 啓 二 議員	9 番	猪 原 陽 輔 議員
10 番	待 鳥 美 光 議員	11 番	吉 田 けさみ 議員
12 番	赤 松 祐 造 議員	13 番	安 保 友 博 議員
14 番	吉 村 豪 介 議員	15 番	小 嶋 智 子 議員
16 番	金 井 伸 夫 議員		

◇欠席議員 1名

18 番 齊 藤 克 己 議員

◇出席説明員

市 長	松 本 武 洋	副 市 長	大 島 秀 彦
企 画 部 長	橋 本 久	総 務 部 長	安 井 和 男
市民環境部長	中 蔦 裕 猛	企画部次長兼 財政課長	奥 山 寛 幸
企画部次長兼 政策課長	川 辺 聡	秘書広報課長	松 戸 克 彦
総務人權課長	寄 口 昌 宏	資 源 リサイクル 課長	福 島 達 也
資 源 リサイクル 主 幹	細 田 武	総 務 人 権 課 長 補 佐	茂 呂 あかね

◇事務局職員

議会事務局長 本 間 修 議会事務局次長 伊 藤 英 雄

議事課長補佐 細野千恵

主任 秋元佑介

- ◇本日の会議に付した案件
 - ごみ焼却処理施設について
 - その他

午後 1時50分 開会

○齊藤秀雄議長 ただいまから全員協議会を開催します。

なお、本日齊藤克己議員から体調不良により欠席届が提出されておりますので、御報告します。

初めに、市長より挨拶をお願いいたします。

松本市長。

○松本市長 皆様、議会終了後のお忙しい時間にお時間を頂戴しましてまことにありがとうございます。また、大変御多用の中全員協議会の開催ということで、本当に感謝申し上げます。

さて、本日はごみ焼却処理施設について説明をさせていただきます。

このたび和光市と朝霞市のごみ処理広域化について、再度協議を開始させていただくことを御報告いたします。

現在の和光市清掃センターは、竣工後28年間が経過し、現有施設での延命化が可能な期間はおおよそ10年程度であることから、このたび平成30年6月に和光市と朝霞市との2市で広域化について、検討していくことになりました。

それでは、ごみ焼却処理施設について、担当部長から御説明申し上げますのでよろしく願いいたします。

○齊藤秀雄議長 中蔦市民環境部長。

○中蔦市民環境部長 それでは、ごみ焼却処理施設につきまして御説明を申し上げます。配布資料に基づきましての説明になります。

ごみ焼却処理施設につきましては、埼玉県が示しているごみ処理広域化計画において、一般廃棄物の広域処理を推進していることから、平成25年10月に朝霞市とごみ処理に係る広域化の検討を開始をいたしました。

その結果、平成26年3月に、和光市と朝霞市でごみ焼却処理施設を建設する場合の建設候補地が両市ともないということと、朝霞市が新たなごみ焼却処理施設の建てかえをした場合、時期が合わないということの二点から、朝霞市との広域化につきまして凍結となりました。

その後、平成29年6月に、市長の政策実行計画に基づき、和光市内で単独でごみ焼却処理施設の建てかえをすることになりました。周辺自治体との広域化についての協議もあわせて行うということでしたけれども、その結果、広域化につきましては合意には至らなかったということでございます。

平成30年6月に、朝霞市のごみ焼却処理施設が延命化により、完成時期をおくらせることができることになりました。和光市が単独でごみ処理施設を整備していくことを方針づけをしておりましたので、その整合が図れると時期がそこで合うということになりましたので、このたび、和光市と朝霞市による広域でのごみ処理焼却施設を和光市内で建設するための協議を進めてまいりたいと考えております。

なお、次回の建てかえにつきましては、申し合わせで朝霞市で建設をしていただくという
こととさせていただきます。

説明は以上でございます。

○齊藤秀雄議長 以上で説明が終了しましたので、質疑を行います。質疑のある方は挙手願
います。

吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 かつて朝霞市との広域化ということで計画というか処理量とか規模とかか
かる費用とかを計算で示したことがありましたよね。あれはまた生かされるのか、それとも再
度そういった規模なども含めて検討が行われるかどうか。

○齊藤秀雄議長 中葛市民環境部長。

○中葛市民環境部長 平成25年の最初のフレーズのところなんですけれども、検討を開始して
和光と朝霞の広域化について、ひとつまとめたものがあるんですけれども、その中で、その当
時の広域のイメージを示してあるんですけれども、今後については、ごみの量とかの推計も変
わってまいりますので、改めてまたやり直すような形になるんですが、おおよそ、その報告書
から外れるような結果は出ないと思っています。

○齊藤秀雄議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 質問ではないんですけど、本当に願っていることなので、ぜひ推進をお願い
いたします。お互いの財政負担について朝霞市の市民の人たちの全員の話は聞いてないですけ
ど、何人かは和光市とやりたいということは聞いてますので、ぜひお願いしたいと思いま
す。

○齊藤秀雄議長 菅原議員。

○菅原満議員 繰り返しで申し訳ないんですが、市民環境部長から説明いただいた中で、建設
については朝霞市でというのは検討を朝霞市で行うということなんでしょうか。建設場所や、
建設について、今後従前の検討はあるけれども改めて検討していくということなんでしょ
うか。繰り返しで申し訳ありませんけれども確認をさせていただきますでしょうか。

○齊藤秀雄議長 中葛市民環境部長。

○中葛市民環境部長 今回の広域化の前提条件につきましては、時期の整合があったというこ
とと、建設地を和光市でやるという二点でございます。

○齊藤秀雄議長 それから先はこれからです。

金井議員。

○金井伸夫議員 ちょっと今までどういうことになってるのか確認させていただきたいんです
が、朝霞市とあわせてやる場合でも、その焼却施設の用地は和光市内ということで検討される
ということなんでしょうか。

○齊藤秀雄議長 中葛市民環境部長。

○中葛市民環境部長 広域化がなかなか難しい時に、和光市で単独でやるという時に、その場
合、今の清掃センターを運転しながら新たなプラントを作ることが一番経済的にメリッ

トが出るということで、御存知のとおり、清掃センターは、高圧線が走ってまして、約6200平米くらいあるんですが、3分の1くらいその影響が出てしまうということで、用地を、新たにその市街化調整区域のなかで求めていくという決定をしたわけですね。その前提において、朝霞市との広域化をやるということで、和光で建設を始めるということが広域化の前提ということでございます。

○齊藤秀雄議長 富澤議員。

○富澤啓二議員 まだ協議を開始するという前提だと思いますが、白紙かもしれませんが、この広域化の時期の見通しとスケジュールがある程度出ているようでしたらお知らせください。

○齊藤秀雄議長 中蔦市民環境部長。

○中蔦市民環境部長 あらあらになってしまうんですけども、今、用地のお話もさせていただきましたが、相手あつての部分も多くあります。都市計画とかアセスメントとか、そのへんの前処理的なところも多くございまして、今後の不確定要素を全部含めまして、10年後というのを一つの目安にしております。

○齊藤秀雄議長 赤松議員。

○赤松祐造議員 市長が和光でもいいですよってことで話を持っていくけど、話が進んだら、ひょっとしたら朝霞が私らのところに作ってほしいって言うかもわかりませんよね。その辺は柔軟にやられるわけですか。駆け引きがありますよね。

○齊藤秀雄議長 松本市長。

○松本市長 前回の広域化の際に、朝霞市の考えてる日程の中で、どちらの市にもちょっとちょうどいい場所が見つけられそうにないというような話の中で、話が流れたわけではありますが、今回も基本的に朝霞市内でちょっと思い当たるところがすぐはないという中で、とりあえず和光市内で頑張ってみようという中で、そのかわり、今回は朝霞市でやりましょうということで、それも全部和光市でごみを処理をするというよりは、例えば、和光市で燃えるごみをやるのであれば、その他どういうふうな分担ができるかという相談はできますが、基本的にメインの焼却施設については、和光で用地を探すという前提になりますので、ここはちょっとフィックスということでお考えいただければと思います。今回は朝霞市でやっていただきます。

○齊藤秀雄議長 それでは、これからということで皆さん御理解いただきたいと思います。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」という声あり〕

以上にて、質疑を終結します。

休憩します。（午後 2時00分 休憩）

再開します。（午後 2時01分 再開）

その他として各議員からございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ本日の協議事項はこれにて終了しました。

記録につきましては正副議長に一任願います。
以上にて全員協議会を閉会します。

午後 2時02分 閉会

議 長 齊 藤 秀 雄

副 議 長 村 田 富 士 子